

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	コロニー児童デイサービスまえじま発達支援
------	----------------------

公表日 令和7年3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚などを利用してできるだけスペースを作っているが、活動内容によっては狭さを感じる事があります。 ・ 収納方法を工夫し環境整備を行い、スペースを確保しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準を満たしているが、集団活動と個別での支援を両立するためには、もう少し広さが欲しいと感じます。 ・ 空間が狭い為、午睡するスペースが玄関側に限られているので、他に方法はないか検討しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員を多く配置する事ができています。 ・ ほぼ1対1の対応。児童の状態では職員同士で交代して対応できる支援を行っています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全対策を行い、鍵の修理や危険箇所の補修を行っています。 ・ トイレや手洗い等、その場所で行う行動の絵カードを貼り付けわかりやすくしています。 ・ 動線に沿っての位置に準備、片付けができるような配置に整えています。 	カバンの棚は定位置で、名前や顔写真を設置する等を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	狭い空間なので、物を棚の上側に置いている状況だが、危険がないか安全確認を行っています。その空間でできる活動を工夫して行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	言語訓練の際は事務所に個別の対応を行っていますが、児童が一人になりたいときに使用できる個別のスペースはない状況です。(カーテンで対応しています。)	言語訓練のスペースはあるが、それ以外のスペースはないので、間切りで空間を作ってもいいと思われれます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践、改善があまり見えてこない場合があり、曖昧なまま進んでしまうこともある。 ・ 情報の共有が必要だと思う。 	日頃から支援や事業所運営に関して、職員ミーティング等で話し合いを行っており、今後もより良いサービスを提供できるよう、振り返りと改善を進めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者の意向やニーズを職員全員で共有し、把握、改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に一回以上の職員ミーティングと事業開始、終了後に毎日小ミーティングを行い、意見を出し合っている。 ・ すぐにでも必要な時にはその日に対応。 ・ 月1でのミーティング等で話し合っている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		外部評価は実施できておりませんが、法人内での事業所の視察や合同の会議を実施し、業務改善を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所から職員へ研修の呼びかけや法人内研修を実施している。 ・ 職員全員が参加しやすいシフト作りをし、受講する機会を確保している。 ・ 今年度は、動画視聴による研修の機会があり、効率よく今後も継続したい。時間がある時にスケジュールを組んでも入れるので良いと思われる。 	今後とも職員の支援のスキルアップとより良いサービスの提供ができるよう、研修の機会を設けていきたいと思えます。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		今後は、活動内容とその活動のねらい等、支援に関する情報を事業所だけでなく、保護者や関係機関へ共有したいと思っています。	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		モニタリング会議等は行っているが、議論を深めるまでの話し合いの時間を確保することが難しいため、会議時間の工夫が必要と考えています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		計画書の一覧を綴り、保管スペースがあった方が意識して支援の対応ができると思います。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		事業所でのアセスメントを作成しても良いかと思う。(引継ぎの資料として参考になる。)
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2		担当が組み立てているが、全体で協力して行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		レポーターを増やしている。月ごとに担当を変えてマンネリ化しないようにしている。障がい特性によっては、活動内容を継続する事もある。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		朝礼、支援終了後のミーティングを行い、打ち合わせを行っている。
関係	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		・日々の児童たちの記録を見ながら支援を意識している。 支援の検証や改善方法は職員ミーティングで行っているが時間の確保が課題となっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		・話し合う時間に工夫が必要？(時間を短縮するため) ・事前に各自でモニタリングをしてその場で発言してもらいたいと思います)
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	6		並行利用する事業所や登園している保育園、子ども園、相談支援専門員など関係機関とは連携を行い支援を実施している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		担当者会議で、相談支援専門員を始め、並行利用する事業所や通園する保育園や子ども園、移行先となる事業所等と情報交換を行い、利用者の理解を深めると共に、支援に関して話し合いを行い、支援の共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		小学校や特別支援学校との連携はできていないが、相談支援専門員や移行する事業所等と情報共有を行っている。
		(28~30は、センターのみ回答)				今後はさらに、移行先の事業所や小学校などの教育機関とも連携を密に行い、利用者が継続してより良いサービスを受ける事ができるよう取り組んでいきたいと思っています。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	直接、事業所への助言等を受けておりませんが、利用者のご家族様から、児童発達支援センターからの支援に関する情報や助言を共有して頂き、事業所での支援に取り入れながらサービスの提供を行っております。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	現在、利用児童全員がこども園、保育園に在籍しています。	・イベントを見に行く事はあるが他の子どもと接する機会は少ない。改善が必要と感じています。 ・自治会のイベント等、大人との交流はあるが子どもとはない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		事業所ではペアレントトレーニングを実施できていない。那覇市の相談支援事業所からの情報共有があった際は、保護者への呼びかけを行っています。		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・連絡帳(コドモン)や送迎の際に行っている。 ・送迎時に保護者さんとのコミュニケーションを取りながら、必要な場合は管理者へ連携し対応しています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	親子遠足や家族会を開催し、交流の場を設けている。	定期的に家族会を行う等、保護者との交流の機会を検討していきたいと思っております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	定期での事業所だより等は配布できていないが、モニタリング会議の際、保護者へ活動内容と児童の様子が分かるよう、写真を用いて資料をお渡しするようにしています。	事業所だよりの作成等、事業所での活動の様子を保護者や関係機関に共有していきたいと考えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	利用者の個人情報の取扱いに関して、職員の雇用契約時に確認を行い、周知しております。また、利用契約時に保護者への説明を行っております。	今後とも個人情報の取扱いに十分留意し、利用者、保護者への説明や確認を行ってまいります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	地域のイベントへは参加し、地域交流の場を設けている。	事業所の活動に地域住民の参加を促す事は、実施できていない状況です。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	家族には契約時に説明している。			

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントで把握し、保護者にも詳しく聞きながら対応を行っている。引継ぎの際に一日の様子を報告している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	担当がチェックしながら他の職員も気づいた点を伝え、環境整備を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	月に1回の職員ミーティングの際、虐待防止の資料の読み合わせを行い、支援での振り返りを行っている。	定期的に知識・技術に関する研修を事業所内でも行った方がいいと思うので、計画していきたいと考えます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		